

- | | |
|-----|--|
| 問1 | えらの表面に多数分布し、血液と水の間で気体を交換する器官を何というか？ |
| 問2 | 太い主根がなく、多数の細い根が広がっている根のタイプを特徴とする植物のグループを何という？ |
| 問3 | 花粉がめしべの先端部分に付着することを受粉というが、そのめしべの先端部分を何という？ |
| 問4 | 根から吸い上げた水や、そこに溶けている無機養分を体全体に運ぶための管を何という？ |
| 問5 | シダ植物の葉の裏側で見られる、胞子を生産・貯蔵するための小さな袋状の器官を何という？ |
| 問6 | 周囲の気温が変化しても、体内で熱を産生して体温を一定に保つことができる動物を何という？ |
| 問7 | 葉の根元から先端にかけて真っ直ぐに伸びるタイプの葉脈を何という？ |
| 問8 | アサリやカキのように、内臓が外とう膜に包まれ、二つの殻を持つ軟体動物のグループを何という？ |
| 問9 | 被子植物において、おしべでつくられた花粉がめしべの先につくことを何という？ |
| 問10 | 顕微鏡の構成要素のうち、観察者の目に近い位置にあるレンズを何という？ |
| 問11 | シダ植物が花を咲かせずに繁殖するために使う、胞子が入っている袋を何という？ |
| 問12 | 顕微鏡の全体の倍率を求める際、対物レンズの倍率ともう一つ組み合わせて掛け合わせる、鏡筒の上の部分に取り付けられたレンズのことを何という？ |
| 問13 | 魚類などが水中で生活するために発達させた、気体交換を行う呼吸器官を何というか？ |
| 問14 | 葉で光合成によって作られた養分を、植物の体全体へ運ぶための管を何という？ |
| 問15 | 軟体動物が持たない、節足動物の体の表面を覆う硬い構造を何という？ |
| 問16 | 受粉後、雌しべの中に伸びていき、精細胞を胚珠へ運ぶ通り道のことを何という？ |
| 問17 | 肺でのガス交換において、血液中から肺胞へと移動し、最終的に呼気として体外へ追い出される気体は何か？ |
| 問18 | 植物の根の表面にある、水や養分を効率よく吸収するための小さな突起を何という？ |
| 問19 | シダ植物が根・茎・葉の区別と共に持っている、水や養分を運ぶ管が束になったつくりを何という？ |
| 問20 | 顕微鏡の視野を明るくするために、光を反射させて光量を調整する鏡を何という？ |
| 問21 | マツのような裸子植物において、胚珠がむき出しの状態から成長して形成される、繁殖のための器官を何という？ |